

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成27年2月12日
【四半期会計期間】	第23期第3四半期（自平成26年10月1日至平成26年12月31日）
【会社名】	株式会社オールアバウト
【英訳名】	All About, Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 江幡 哲也
【本店の所在の場所】	東京都渋谷区恵比寿一丁目18番18号
【電話番号】	03（6362）1300（代表）
【事務連絡者氏名】	執行役員 C A O 森田 恭弘
【最寄りの連絡場所】	東京都渋谷区恵比寿一丁目18番18号
【電話番号】	03（6362）1300（代表）
【事務連絡者氏名】	執行役員 C A O 森田 恭弘
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第22期 第3四半期連結 累計期間	第23期 第3四半期連結 累計期間	第22期
会計期間	自平成25年4月1日 至平成25年12月31日	自平成26年4月1日 至平成26年12月31日	自平成25年4月1日 至平成26年3月31日
売上高 (千円)	3,003,014	4,561,272	4,421,859
経常利益 (千円)	35,836	82,873	126,642
四半期(当期)純利益 (千円)	4,815	50,995	80,188
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	5,162	51,145	79,973
純資産額 (千円)	3,402,719	3,519,950	3,477,530
総資産額 (千円)	3,915,393	4,180,727	4,072,522
1株当たり四半期(当期)純利益 金額 (円)	0.36	3.80	5.98
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	0.36	3.79	5.96
自己資本比率 (%)	86.2	83.6	84.8

回次	第22期 第3四半期連結 会計期間	第23期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成25年10月1日 至平成25年12月31日	自平成26年10月1日 至平成26年12月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	3.88	1.29

(注) 1. 当社は、四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき普通株式100株の割合で株式分割を行いました。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期(当期)純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額を算定しております。

3. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の連結子会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

第1四半期連結会計期間より、中古車の個人間売買支援サービス事業に参入するためにカーコンビニ倶楽部株式会社と合併で設立した合同会社カーコンマーケットを持分法適用の範囲に含めております。

また、第2四半期連結会計期間より、当社の連結子会社である株式会社オールアウトライフマーケティングが、ECサービスにおける酒類を中心とした品揃えの強化を図るため、酒類販売業免許を有する有限会社シャンディー(現有限会社オールアウトリカーサービス)の株式を取得し、子会社化(当社の孫会社化)した事に伴い、当該孫会社を連結の範囲に含めております。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府の経済政策や日銀による金融緩和により、企業収益や雇用情勢が改善されるなど、緩やかな景気の回復基調が継続している一方で、消費税の増税による影響や海外景気の下振れの影響等により、依然として先行きには不透明感が残る状況となっております。

このような環境下で当社グループは、当社が運営するインターネット総合情報サイト「All About」において、メディア力の強化を目的として複数の専門家記事や外部の情報を独自に再編集した質の高いまとめコンテンツの提供や動画コンテンツの投入を進めるとともに、コンテンツ制作の効率化に努めてまいりました。また、集客力向上のために検索エンジンへの最適化や他媒体へのコンテンツ提供に注力してまいりました。

その結果、「All About」の利用者数とページビュー（サイトの閲覧数）増加により利益率の高いネットワーク型広告の売上が増加したことに加え、コンテンツ制作の効率化により、利益率が改善いたしました。

また、連結子会社の株式会社オールアバウトライフマーケティングにおいては、「サンプル百貨店」におけるサンプル商品の拡充と会員数の増加に注力してまいりました。株式会社オールアバウトライフワークスにおいては、複数の新しい生涯学習講座を開講いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は4,561百万円（前年同四半期比51.9%増）、営業利益は105百万円（前年同四半期比219.7%増）、経常利益は82百万円（前年同四半期比131.3%増）となりました。四半期純利益は、平成26年12月にグループ経営の推進を目的として本社を移転することを決議し、減損損失を18百万円計上したことにより、50百万円（前年同四半期比959.0%増）となりました。

なお、当社グループの事業はメディアビジネスの単一セグメントのため、セグメント別の業績の記載を省略しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は3,352百万円となり、前連結会計年度末に比べ101百万円減少いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が150百万円、商品及び製品が66百万円増加した一方、有価証券が195百万円、現金及び預金が146百万円減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は828百万円となり、前連結会計年度末に比べ209百万円増加いたしました。これは主に差入保証金が103百万円、ソフトウェアが84百万円、投資有価証券が45百万円増加した一方、のれんが32百万円減少したことによるものであります。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は608百万円となり、前連結会計年度末に比べ92百万円増加いたしました。これは主に買掛金が47百万円、未払消費税等が30百万円、未払費用が17百万円、未払法人税等が14百万円、預り金が11百万円増加した一方で、未払金が30百万円減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は52百万円となり、前連結会計年度末に比べ26百万円減少いたしました。これは主に資産除去債務が15百万円、長期借入金が12百万円減少したことによるものであります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は3,519百万円となり、前連結会計年度末に比べ42百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益を50百万円計上したこと及び13百万円の配当実施により、利益剰余金が37百万円増加したことによるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	45,162,000
計	45,162,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成26年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成27年2月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	13,443,000	13,443,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	13,443,000	13,443,000	-	-

(注)「提出日現在発行数」欄には、平成27年2月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成26年10月1日～ 平成26年12月31日	-	13,443,000	-	1,174,283	-	1,417,003

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成26年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成26年12月31日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 13,500	-	-
完全議決権株式（その他）	普通株式 13,429,100	134,291	-
単元未満株式	普通株式 400	-	-
発行済株式総数	13,443,000	-	-
総株主の議決権	-	134,291	-

（注）「単元未満株式」欄には、当社所有の自己保有株式66株が含まれております。

【自己株式等】

平成26年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数（株）	他人名義所有 株式数（株）	所有株式数の 合計（株）	発行済株式総数に 対する所有 株式数の割合 （％）
株式会社オールアバウト	東京都渋谷区恵比寿一丁目 18番18号	13,500	-	13,500	0.10
計	-	13,500	-	13,500	0.10

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成26年10月1日から平成26年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,557,892	1,411,400
受取手形及び売掛金	640,147	790,922
有価証券	900,533	705,362
商品及び製品	260,810	327,204
未成制作費	8,727	9,315
前払費用	17,839	19,703
繰延税金資産	26,387	30,995
その他	46,166	60,821
貸倒引当金	4,642	3,255
流動資産合計	3,453,861	3,352,472
固定資産		
有形固定資産		
建物	53,722	33,596
減価償却累計額	32,673	33,202
建物(純額)	21,048	394
工具、器具及び備品	147,722	147,115
減価償却累計額	117,571	119,739
工具、器具及び備品(純額)	30,150	27,376
建設仮勘定	516	-
有形固定資産合計	51,715	27,770
無形固定資産		
のれん	254,063	221,333
ソフトウェア	127,183	211,424
ソフトウェア仮勘定	24,820	26,981
その他	2,918	2,530
無形固定資産合計	408,986	462,269
投資その他の資産		
投資有価証券	33,704	78,704
関係会社株式	-	31,975
破産更生債権等	10,765	10,765
長期前払費用	1,089	921
長期貸付金	7,000	5,370
差入保証金	82,145	185,559
繰延税金資産	7,831	8,754
その他	26,187	26,928
貸倒引当金	10,765	10,765
投資その他の資産合計	157,958	338,215
固定資産合計	618,660	828,255
資産合計	4,072,522	4,180,727

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	231,944	279,308
1年内返済予定の長期借入金	32,075	19,311
未払金	34,974	4,556
未払費用	166,865	184,790
未払法人税等	2,748	17,244
未払消費税等	417	30,821
前受金	15,140	16,878
預り金	10,313	21,740
賞与引当金	13,074	6,333
その他	8,953	27,714
流動負債合計	516,506	608,698
固定負債		
長期借入金	39,279	26,342
退職給付に係る負債	22,405	24,905
資産除去債務	15,000	-
その他	1,800	831
固定負債合計	78,485	52,078
負債合計	594,992	660,776
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,170,943	1,174,283
資本剰余金	1,825,973	1,829,312
利益剰余金	459,238	496,814
自己株式	4,212	4,212
株主資本合計	3,451,943	3,496,197
新株予約権	18,899	16,915
少数株主持分	6,687	6,837
純資産合計	3,477,530	3,519,950
負債純資産合計	4,072,522	4,180,727

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	3,003,014	4,561,272
売上原価	641,417	1,347,014
売上総利益	2,361,597	3,214,258
販売費及び一般管理費	2,328,597	3,108,748
営業利益	32,999	105,510
営業外収益		
受取利息	5,903	6,900
その他	775	2,468
営業外収益合計	6,679	9,368
営業外費用		
支払利息	1,632	753
持分法による投資損失	-	26,824
為替差損	2,147	3,921
その他	62	506
営業外費用合計	3,842	32,006
経常利益	35,836	82,873
特別利益		
役員退職慰労引当金戻入額	1,508	-
特別利益合計	1,508	-
特別損失		
減損損失	-	18,576
固定資産除却損	10,730	5,122
投資有価証券売却損	6,813	-
投資有価証券評価損	519	-
特別損失合計	18,063	23,698
税金等調整前四半期純利益	19,282	59,174
法人税、住民税及び事業税	2,817	13,560
法人税等調整額	11,081	5,531
法人税等合計	13,899	8,029
少数株主損益調整前四半期純利益	5,382	51,145
少数株主利益	567	149
四半期純利益	4,815	50,995

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,382	51,145
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	220	-
その他の包括利益合計	220	-
四半期包括利益	5,162	51,145
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,595	50,995
少数株主に係る四半期包括利益	567	149

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

第1四半期連結会計期間より、中古車の個人間売買支援サービス事業に参入するためにカーコンビニ倶楽部株式会社と合併で設立した合同会社カーコンマーケットを持分法適用の範囲に含めております。

また、第2四半期連結会計期間より、当社の連結子会社である株式会社オールアバウトライフマーケティングが、ECサービスにおける酒類を中心とした品揃えの強化を図るため、酒類販売業免許を有する有限会社シャンディー(現 有限会社オールアバウトリカーサービス)の株式を取得し、子会社化(当社の孫会社化)した事に伴い、当該孫会社を連結の範囲に含めております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
減価償却費	62,261千円	64,121千円
のれんの償却額	35,480千円	35,730千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年5月28日 取締役会	普通株式	26,828	200	平成25年3月31日	平成25年6月6日	利益剰余金

- 2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年5月28日 取締役会	普通株式	13,419	1	平成26年3月31日	平成26年6月5日	利益剰余金

- 2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

当社グループは、メディアビジネスの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

当社グループは、メディアビジネスの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	0円36銭	3円80銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	4,815	50,995
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額 (千円)	4,815	50,995
普通株式の期中平均株式数(株)	13,417,143	13,423,896
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	0円36銭	3円79銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(株)	28,911	36,431
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(注) 当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき普通株式100株の割合で株式分割を行っております。

これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成27年 2月12日

株式会社オールアバウト

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 向井 誠 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 下田 琢磨 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社オールアバウトの平成26年4月1日から平成27年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成26年10月1日から平成26年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社オールアバウト及び連結子会社の平成26年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は四半期報告書提出会社が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれておりません。